

令和4年

高松市消費者物価指数の動き

Consumer Price Index

香川県政策部統計調査課

目 次

I	高松市消費者物価指数の動向	
1	概況	1
2	総合指数の動き	2
3	費目別指数の動き	3
II	統計表	
1	高松市中分類指数	8
2	消費者物価指数の推移	13
III	参考	
1	消費者物価指数のしくみと見方（利用者のために）	14
2	基本分類表	18
3	中分類別ウェイト（高松市・全国）	22
4	家計調査	23

I 高松市消費者物価指数の動向

1 概況

◆◆◆ 総合指数101.7 対前年上昇率2.1% ◆◆◆

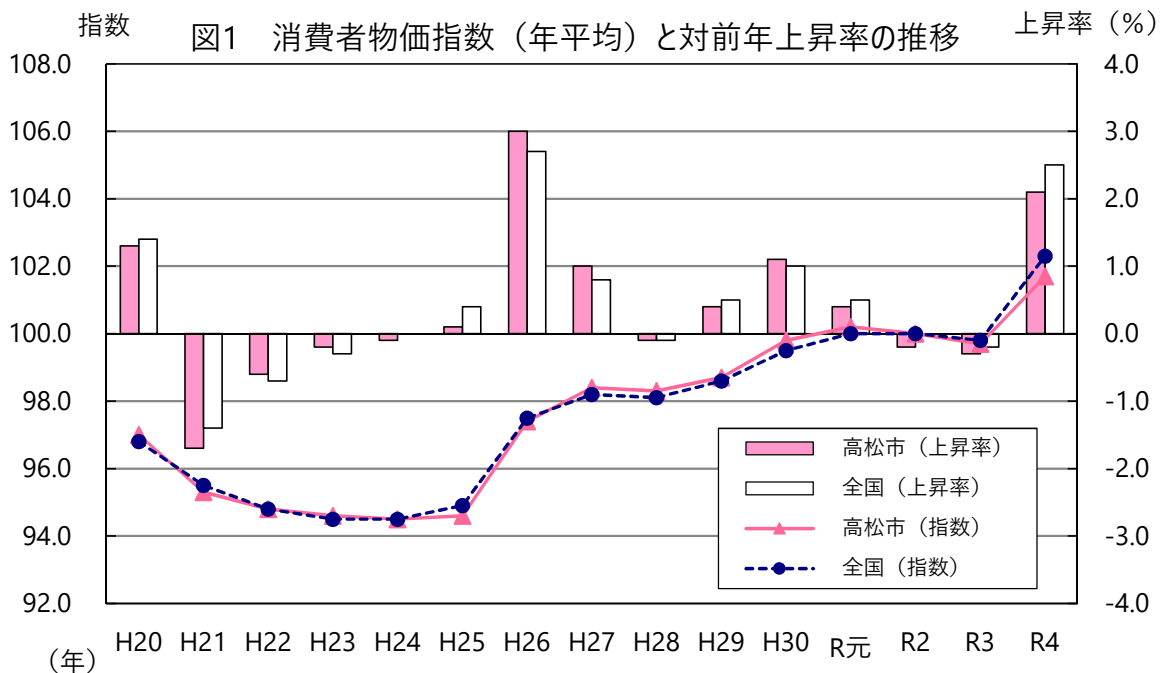
令和4年（令和4年1月～令和4年12月）平均の高松市消費者物価指数は、令和2年平均を100とした総合指数で101.7となり、前年より2.1%上昇した。

生鮮食品を除く総合は101.5となり、前年より1.9%上昇した。

近年の総合指数の動きを対前年比で見ると、平成11年以降デフレ傾向が続き、平成19年、20年には原油及び穀物価格の高騰により一時上昇に転じたが、平成20年9月のリーマン・ショック後、平成21年の1.7%の下落を始まりとして、平成24年まで4年連続の下落となった。平成25年、5年ぶりに上昇に転じて以降は2回の消費税率の引き上げ（平成26年4月：5%→8%、令和元年10月：8%→10% ※食品などは8%に据え置き）もあり、概ね上昇傾向が続いた。令和2年は4年ぶりに下落し、令和3年は、携帯電話の通信料の値下げなどにより2年連続の下落となった。令和4年は、ロシアのウクライナ侵攻や円安の進行により、原油価格や原材料費が上昇し、光熱費やガソリン、食料品などが値上がりしたこと、携帯電話の通信料の値下げ効果が一巡したことなどにより、対前年比は消費税増税の影響を除くと31年ぶりの高い上昇率となった。

また、全国の令和4年平均総合指数は102.3となり、前年より2.5%上昇した。

(図1)



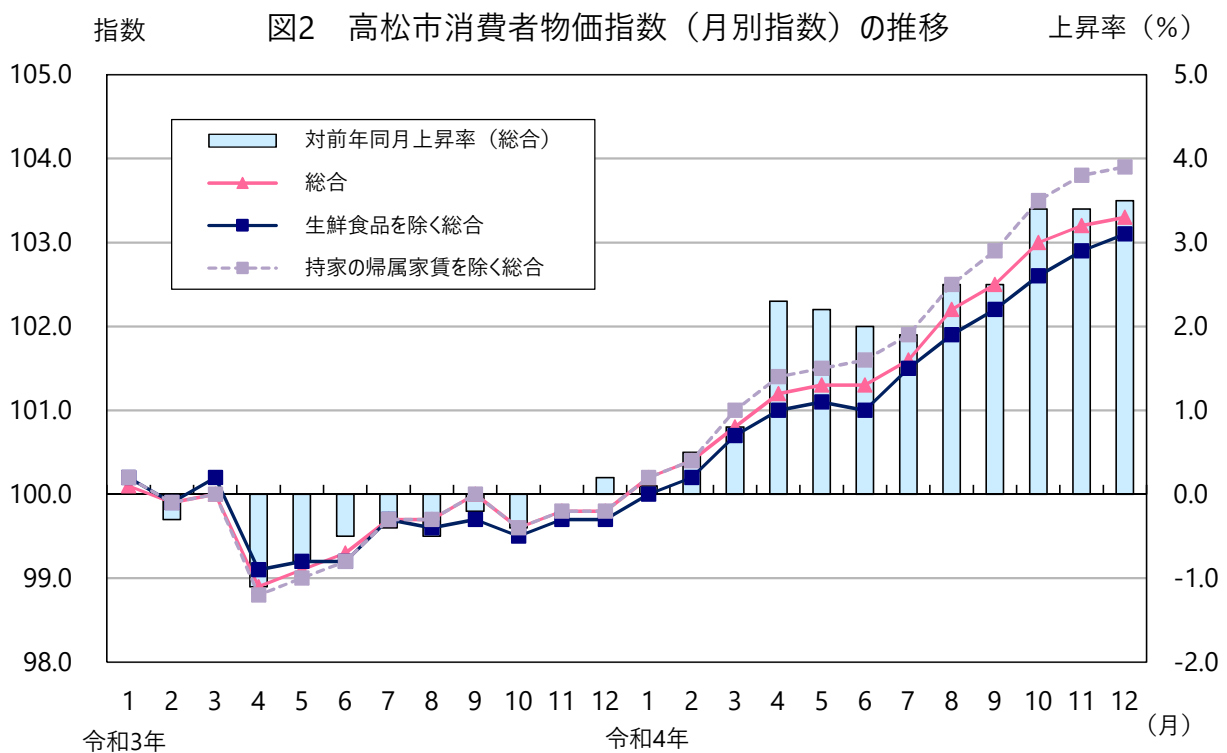
2020年=100 (令和2年=100)

2 総合指数の動き

令和4年平均の高松市消費者物価指数（総合指数）の対前年上昇率は、**2.1%**であった。
この1年間における月別の総合指数の動きをみると、対前年同月比は、概ね上昇傾向となっている。

なお、生鮮食品を除く総合指数は101.5で前年に比べ**1.9%**の上昇、持家の帰属家賃を除く総合指数は102.1で前年に比べ**2.4%**の上昇となっている。

(図2)



3 費目別指数の動き

10大費目の動きを前年比で見ると、「光熱・水道」「食料」「家具・家事用品」「被服及び履物」など8費目が上昇し、「交通・通信」「教育」の2費目が下落している。

<上昇した費目>

光熱・水道	(9.8%)	他の光熱などの値上がり
食料	(4.5%)	魚介類などの値上がり
家具・家事用品	(4.5%)	家庭用耐久財などの値上がり
被服及び履物	(2.9%)	被服関連サービスなどの値上がり
教養娯楽	(1.6%)	教養娯楽用耐久財などの値上がり
諸雑費	(1.0%)	たばこなどの値上がり
保健医療	(0.3%)	医薬品・健康保持用摂取品などの値上がり
住居	(0.2%)	設備修繕・維持の値上がり

<下落した費目>

交通・通信	(△1.6%)	通信の値下がり
教育	(△1.5%)	授業料等の値下がり

(図3, 図4)

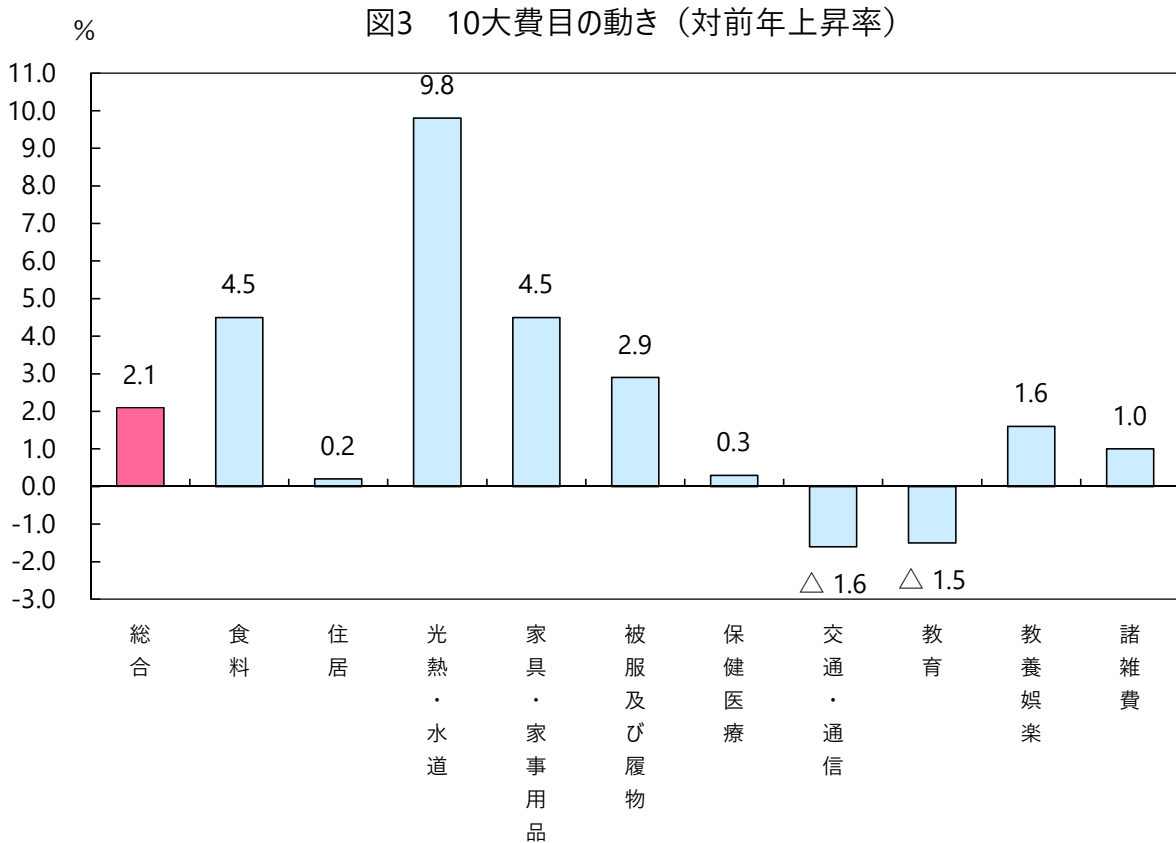
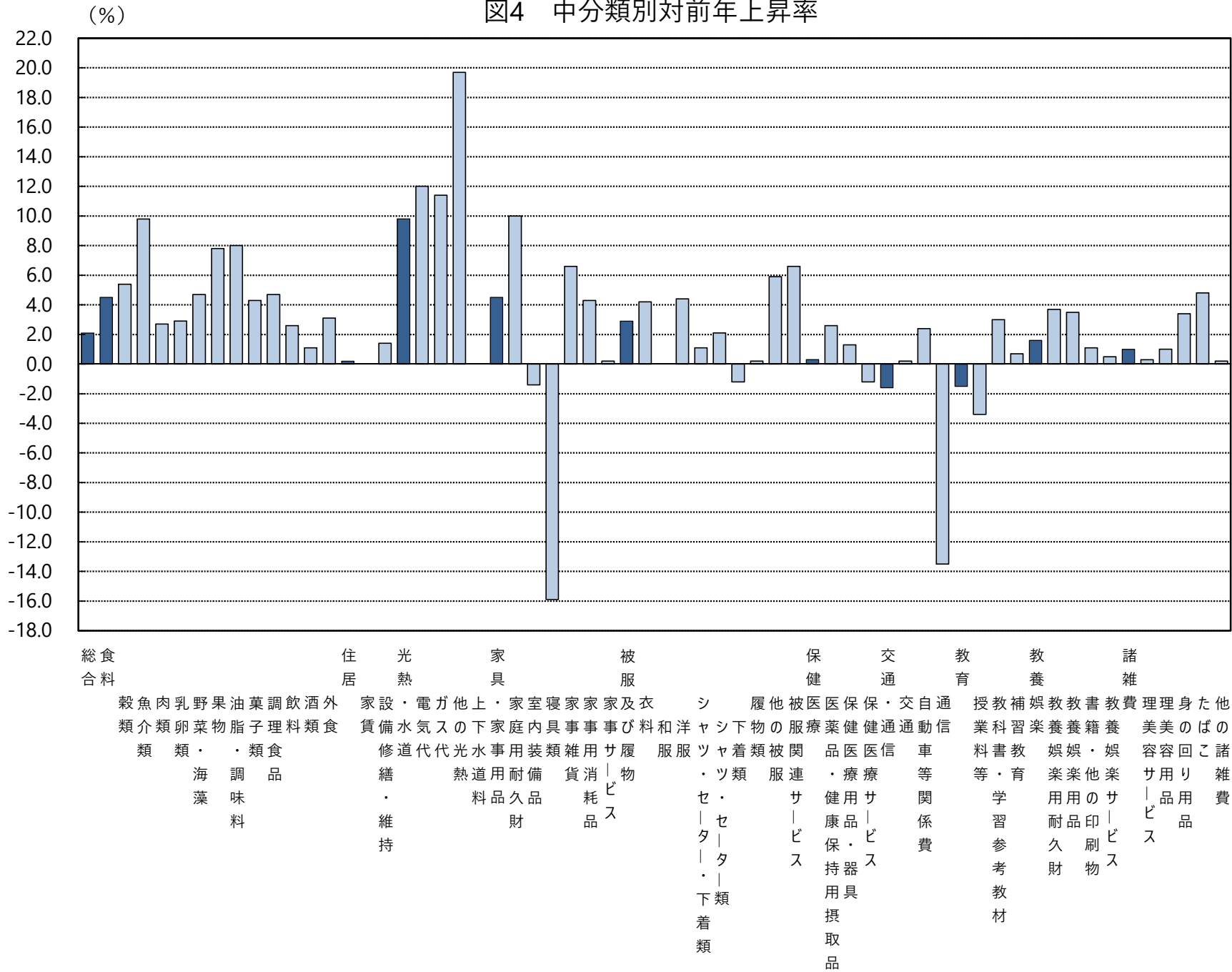


図4 中分類別対前年上昇率

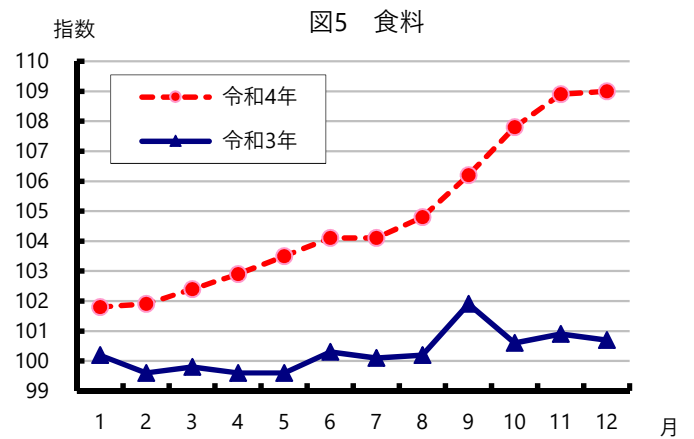


【食料】 指数 104.8

全体で前年比 4.5%の上昇

- 上昇 魚介類 (9.8%) ,
 油脂・調味料 (8.0%) ,
 果物 (7.8%) , 穀類 (5.4%) ,
 野菜・海藻 (4.7%) ,
 調理食品 (4.7%) , 菓子類 (4.3%) ,
 外食 (3.1%) , 乳卵類 (2.9%) ,
 肉類 (2.7%) , 飲料 (2.6%) ,
 酒類 (1.1%)

< 図5, 第1表 >

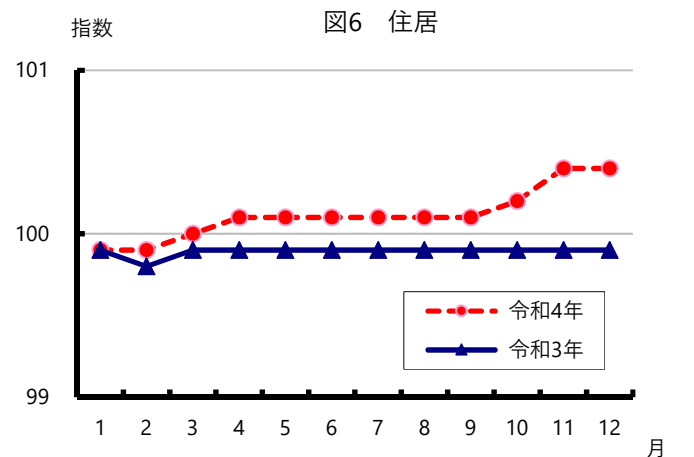


【住居】 指数 100.1

全体で前年比 0.2%の上昇

- 上昇 設備修繕・維持 (1.4%)
 同水準 家賃

< 図6, 第1表 >

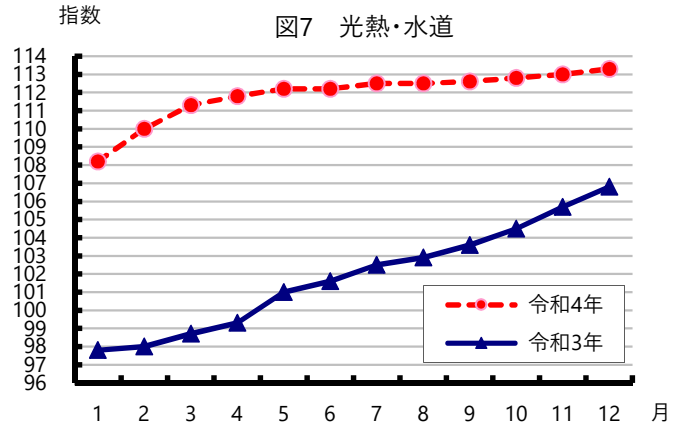


【光熱・水道】 指数 111.9

全体で前年比 9.8%の上昇

- 上昇 他の光熱 (19.7%) ,
 電気代 (12.0%) , ガス代 (11.4%)
 同水準 上下水道料

< 図7, 第1表 >

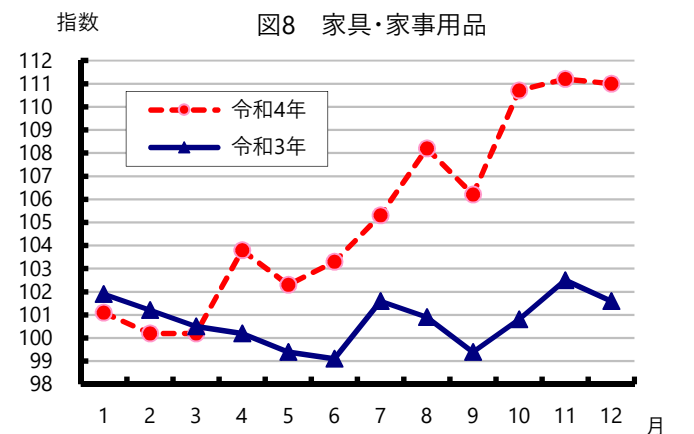


【家具・家事用品】 指数 105.3

全体で前年比 4.5%の上昇

- 上昇 家庭用耐久財 (10.0%) ,
 家事雑貨 (6.6%) ,
 家事用消耗品 (4.3%) ,
 家事サービス (0.2%)
 下落 寝具類 (△15.9%) ,
 室内装備品 (△1.4%)

< 図8, 第1表 >



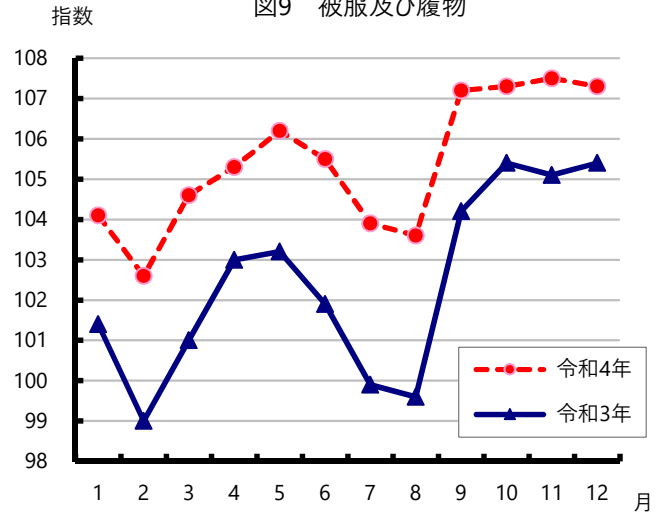
【被服及び履物】 指数 105.4

全体で前年比 2.9%の上昇

上昇 被服関連サービス (6.6%) ,
他の被服 (5.9%) , 衣料 (4.2%) ,
シャツ・セーター・下着類 (1.1%) ,
履物類 (0.2%)

< 図9, 第1表 >

図9 被服及び履物



【保健医療】 指数 100.0

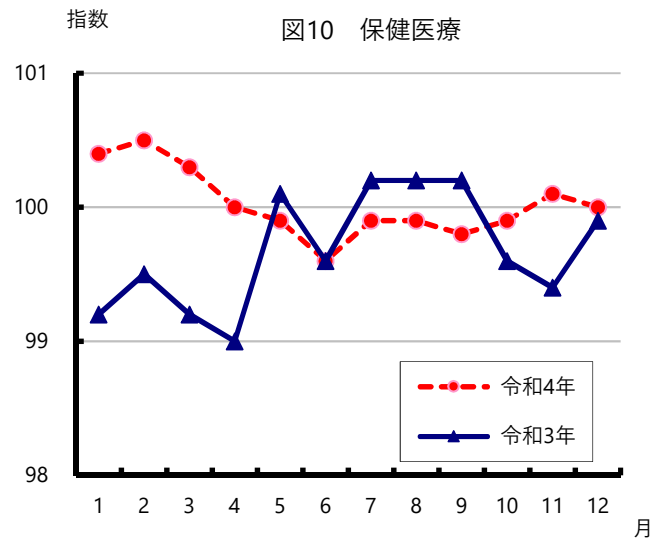
全体で前年比 0.3%の上昇

上昇 医薬品・健康保持用摂取品 (2.6%) ,
保健医療用品・器具 (1.3%)

下落 保健医療サービス (△1.2%)

< 図10, 第1表 >

図10 保健医療



【交通・通信】 指数 93.5

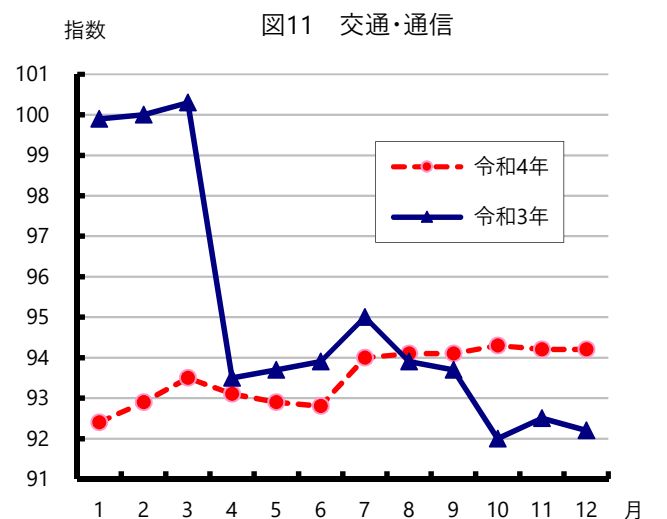
全体で前年比 1.6%の下落

上昇 自動車等関係費 (2.4%) ,
交通 (0.2%)

下落 通信 (△13.5%)

< 図11, 第1表 >

図11 交通・通信



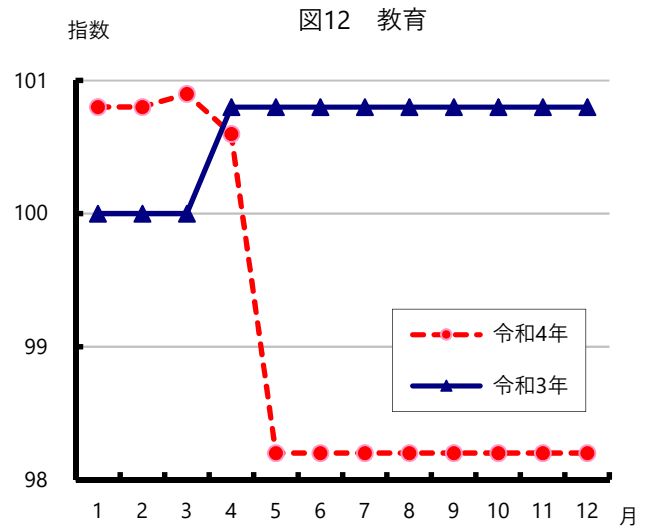
【教育】 指数 99.1

全体で前年比 1.5%の下落

上昇 教科書・学習参考教材 (3.0%) ,
補習教育 (0.7%)

下落 授業料等 (△3.4%)

< 図12, 第1表 >

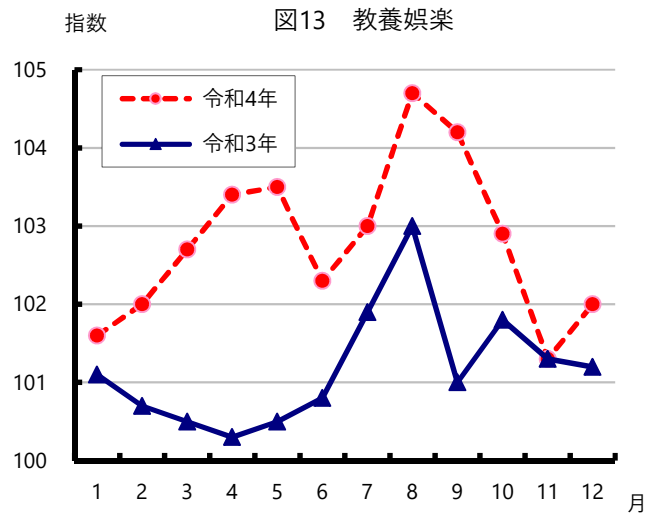


【教養娯楽】 指数 102.8

全体で前年比 1.6%の上昇

上昇 教養娯楽用耐久財 (3.7%) ,
教養娯楽用品 (3.5%) ,
書籍・他の印刷物 (1.1%) ,
教養娯楽サービス (0.5%)

< 図13, 第1表 >



【諸雑費】 指数 102.2

全体で前年比 1.0%の上昇

上昇 たばこ (4.8%) ,
身の回り用品 (3.4%) ,
理美容用品 (1.0%) ,
理美容サービス (0.3%) ,
他の諸雑費 (0.2%)

< 図14, 第1表 >

